

岐阜大学応用生物科学部
附属野生動物管理学研究センター



年次報告書2010

岐阜大学応用生物科学部

岐阜県

目次

はじめに	1
センターの概要	
沿革／運営／組織	2
目標と目的／施設	3
センターの活動内容	
活動一覧	4
センター紹介	5
野生動物管理学研究センター学生勉強会	
シンポジウム	6
セミナー／普及活動	7～8
・野生動物救護室	
救護状況	9～10
リハビリテーターボランティア活動状況	
収容結果	11～12
・鳥獣害対策指導員育成事業（委託事業）	
委託事業の目的／活動一覧	13
講習会・講座	14
業績及び出版物	
論文／著書	15
学会発表（一般口頭・ポスター）	16
学会シンポジウム・自由集会等	
他機関等への標本提供	17
新聞掲載・テレビ放送等	
組織と運営	
運営協議会と会議メンバー／運営経費／寄付一覧	18
あとがき	19

はじめに

野生動物管理学研究センター長 鈴木 正嗣

野生動物管理学研究センター（旧野生動物救護センター）は、野生動物に関わる数々の活動実績を蓄積しつつ「改組後2年目」を終えることができました。これは、ひとえに関係者の皆様方からの暖かいご支援とお励ましのおかげであり、厚くお礼申し上げます。

平成22年度も、人と野生動物との関わり方を考えさせる幾つもの出来事がありました。中でも「ツキノワグマの人里への大量出没」と「相次いだ野鳥での高病原性鳥インフルエンザの確認」は重く受け取るべき事例と認識しております。前者は有害鳥獣捕獲の許可や移動放獣の考え方・体制に関わる課題を、後者は傷病鳥獣救護が内包する感染症リスクと防疫上の課題と明示したためです。いずれにしましても、これらは私たちの安心・安全な生活の維持と直結する案件であり、従来型の野生動物対応の「再構築」を強く促すものであったことは間違いありません。

このような状況の中、平成22年度は「岐阜県鳥獣被害対策本部」が設置され県庁横断的に野生動物対策に取り組む体制が確立されました。当センターも、「鳥獣害対策指導員育成事業（岐阜県の委託事業）」による7回の講演会・研修会を開催し、被害管理面での県との連携も拡大することができました。昨年度に続き、「特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）」の策定にも併任教員4名が参画しております。傷病鳥獣救護におきましては、鳥インフルエンザの警戒レベル引き上げの影響（受け入れ中止期間の設定）を受けながらも、収容実績は104頭羽に達しました。

上記のとおり、平成22年度は「野生動物管理に関わる岐阜県と本センターの連携」において飛躍の年となりました。しかし、野生動物による農林業被害は増加傾向にあり、野鳥における鳥インフルエンザ対応にも整理すべき課題は山積しております。私共としましては、平成22年度もこれら諸問題の解決に向け全力で取り組む所存でおりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

センターの概要



沿革

平成15年11月 「COE野生動物救護センター」として設立

文部科学省の岐阜大学21世紀COEプログラム「野生動物の生態と病態からみた環境評価」の事業推進拠点として設立されました。

平成19年4月 「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物救護センター」として改組

岐阜大学21世紀COEプログラムが平成19年3月末日をもって終了したのを受けて学部附属のセンターとなりました。

平成21年4月 「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター」として改組

「野生動物医科学分野」と「生息域管理学分野」を設置し、生産環境科学課程や食品生命科学課程の教員も運営協議員/併任教員として参画することになりました。傷病鳥獣救護は「野生動物救護室」にて従来通り継続しています。



運営

「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター規程、および運営協議会細則」に従い、野生動物管理学研究センター運営協議会の議を経て事業を実施しています。

本センター野生動物救護室は、平成19年4月より岐阜大学応用生物科学部と岐阜県との協定書に基づき官学連携融合事業として共同運営しています。さらに、平成22年度からは「鳥獣害対策指導員育成事業」の委託により、野生動物による農業被害軽減を目的とする活動も展開しています（岐阜県農業振興課との協働）。

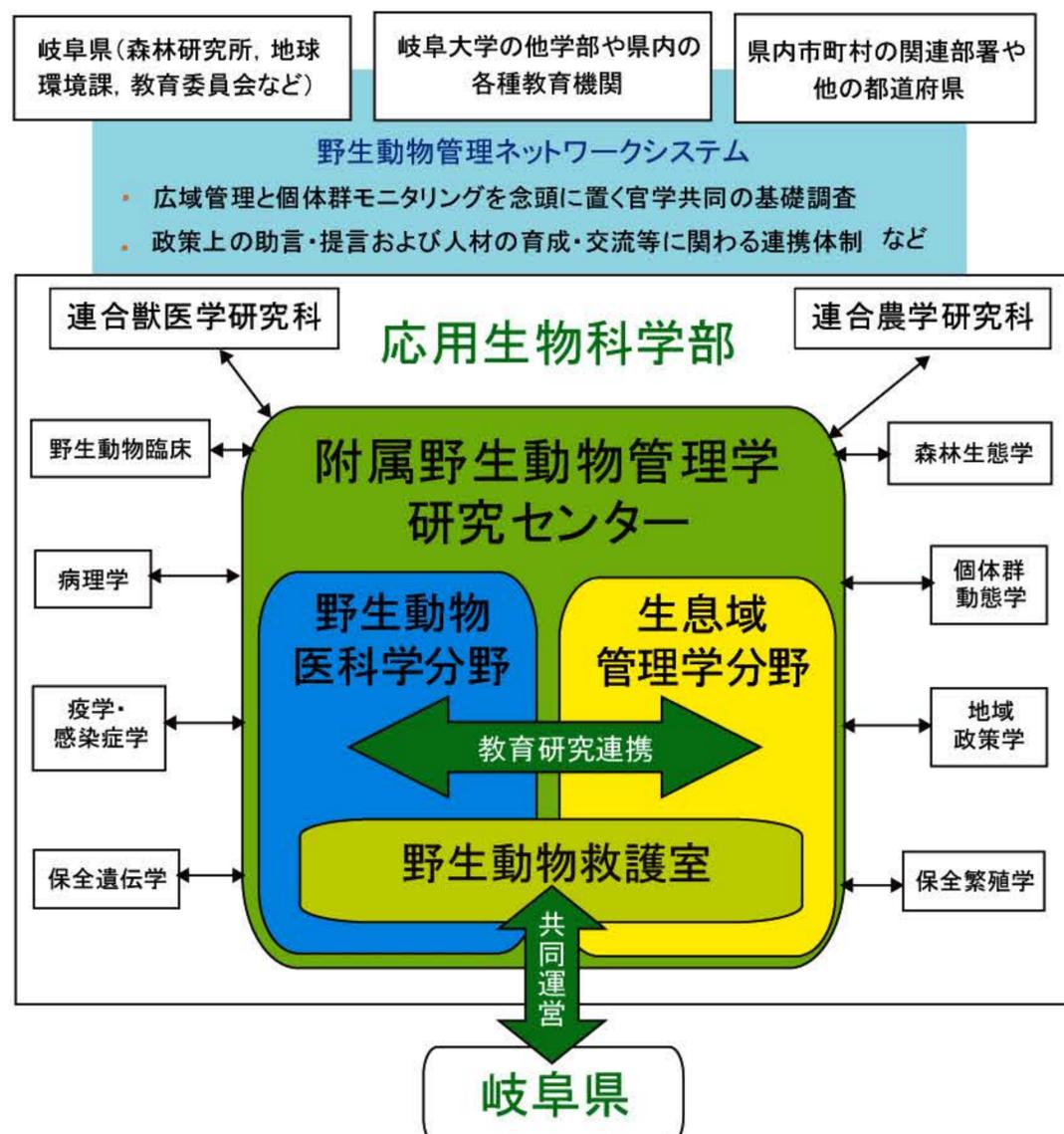
また、岐阜大学と岐阜県との包括連携協定にもとづく「環境をテーマとした共同事業」として「岐阜県野生動物管理ネットワークシステムの構築」を推進しています（この一環として、岐阜県環境生活部からの依頼により特定鳥獣保護管理計画検討会科学部会委員の推薦等も行っています）。



組織

本センターは、センター長、運営協議員/併任教員11名（センター長および事務長を除く）、事務長、リハビリーター2名および岐阜県から派遣された非常勤獣医師1名、岐阜県からの委託事業（鳥獣害対策）による技術補佐員1名から構成されています。また、本センターは多くの市民や学生リハビリーターの皆さんの協力を得ています。

下図に示すように、センター内組織（下方中央部）を基盤に、岐阜県内外における野生動物管理の中核として機能することを目指しています。

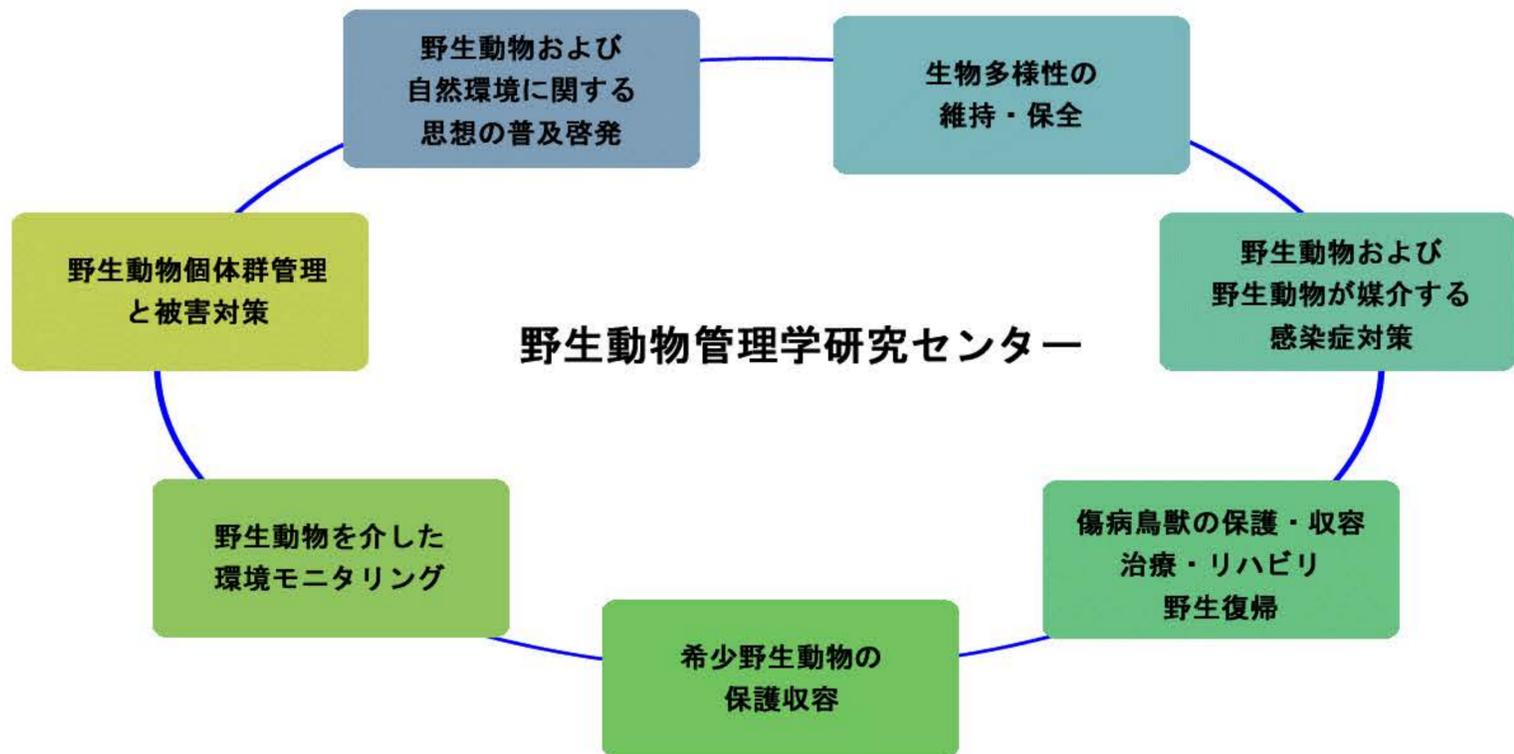


センターの概要



目標と目的

本センターは生物多様性と自然環境の保全を目標とする諸学問を推進し、それに関連する教育、研究および人材育成を目標としております。本センターの目的として以下の7項目を掲げて教育と文化活動を展開しています。



施設

事務室・診療棟、入院棟、個体群管理・被害管理デスク、フライングケージ、水鳥用中型ケージ、大型鳥類用ケージ、小型鳥類用ケージ、哺乳類用運動場などの施設を有しております。



事務室・診療棟と入院棟



診察室



手術室



個体群管理・被害管理デスク



フライングケージ



水鳥用中型ケージ



小型鳥類用ケージ



哺乳類用運動場

センターの活動内容



活動一覧

2010. 04. 07 野生動物管理学研究センター施設見学会(計4回)
, 09, 14, 28
2010. 05. 02 河川環境楽園「身近な野鳥展」にてセンター活動をパネル紹介(原口)
~05
2010. 05. 17 岐阜県地域振興局野生傷病鳥獣救護講習会(浅野、岡野)
2010. 05. 18 岐阜県獣医師会岐阜支部研修会にて講演
「野生動物四方山話」(浅野)
2010. 05. 22 朝日新聞(夕刊) 取材協力(浅野)
「クマの庭 立ち入り注意」
2010. 06. 07 平成22年度第1回愛知県農作物鳥獣害対策研修会にて講演
「アライグマの生態及び防除方法について」(浅野)
2010. 06. 13 第19回学生リハビリテーター養成講習会座学(鈴木、浅野、岡野)
2010. 06. 14 第19回学生リハビリテーター養成講習会実技(岡野、原口、伊藤)
~7. 14
2010. 07. 03 第10回野生動物管理学研究センターセミナー
「和歌山県田辺市におけるアライグマ対策の現状と課題」鈴木和男氏
2010. 07. 14 第1回学生勉強会開催
2010. 07. 17 国際シンポジウム「野生動物管理の担い手：狩猟者と専門的捕獲技術者の育成」にて講演
「個体数管理体制の発想転換」(鈴木)
2010. 07. 30 農作物獣害対策シンポジウム～被害の防止と生物多様性の保全に向けて～(鈴木)
2010. 08. 04 第2回学生勉強会
2010. 09. 01 日本野生動物医学会福岡大会にて講演・発表(岡野、伊藤)
~04
2010. 09. 14 岐阜県立飛騨高山高等学校にて野生動物保護管理活動講演
「傷病鳥獣救護について考える」「野生鳥獣の違法飼育について」(岡野)
2010. 09. 17 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会
~20
(大会実行委員長・鈴木、大会事務局長・浅野)
2010. 10. 10 COP10動物講演会にて講演
「アライグマのことをもっと知ろう ～その生態と外来生物としての現状～」(浅野)
2010. 10. 15 第20回全国動物管理関係事業所協議会全国会議にて講演
「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センターにおける活動」(岡野)
2010. 10. 20 CBCラジオに出演 ツキノワグマの出没について(浅野)
2010. 10. 27 第3回学生勉強会
2010. 11. 17 第4回学生勉強会
2010. 11. 28 第20回学生野生動物リハビリテーター養成講習会座学(鈴木、浅野、岡野)
2010. 11. 29 第20回学生リハビリテーター養成講習会実技(岡野、原口、伊藤)
~1. 12
2010. 12. 15 第5回学生勉強会
2011. 01. 16 東濃獣医師会講習会にて講演
「センターでの傷病鳥獣の救護状況」「ツキノワグマの麻酔管理」(岡野)
2011. 02. 05 第11回野生動物管理学研究センターセミナー
「学芸員のお仕事」説田健一氏
2011. 03. 04 高山市鳥獣被害防止研修会にて講演
「クマとともに生きる」(浅野)
2011. 03. 15 日本野生動物医学会「Student Seminar Course (SSC)」開催(浅野、岡野、原口、森元、森本)

センターの活動内容



センター紹介

「身近な野鳥展」にて、パネル展示
日時：平成22年5月1日(土)～5日(水)
場所：河川環境楽園

「岐阜大学オープンキャンパス2010」にて、センター紹介
日時：平成22年8月10日(火)、11日(水)
場所：応用生物科学部 B棟

「岐阜大学フェア2010 in 岐阜大学キャンパス」にて、パネル展示
日時：平成22年11月5日(金)、6日(土)
場所：岐阜大学第二食堂ほか



「身近な野鳥展」でのパネル展示



野生動物管理学研究センター学生勉強会

第1回 野生動物管理学研究センター学生勉強会

日時：平成22年7月14日(水)12:10～12:40

演題：沖縄美ら海水族館での研修のお話

講師：伊藤

参加者：28名

第2回 野生動物管理学研究センター学生勉強会

日時：平成22年8月4日(水)12:10～12:40 (スライド)

13:00～15:00 (実習)

演題：標本作製の意義と作成方法

講師：伊藤

参加者：9名



第2回野生動物管理学研究センター学生勉強会実習

第3回 野生動物管理学研究センター学生勉強会

日時：平成22年10月27日(水)12:10～12:50

演題：岐阜大学地区のアカミミガメの生息状況とニホンイシガメの域外保全にむけて

講師：楠田

参加者：17名

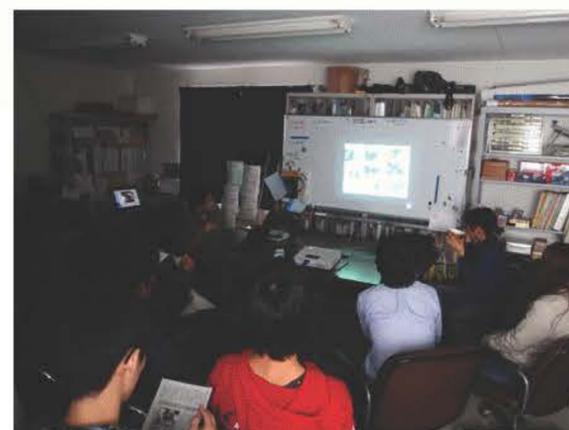
第4回 野生動物管理学研究センター学生勉強会

日時：平成22年11月17日(水)12:10～12:50

演題：正しく自然に関与する 狩猟に否定的な人への捕獲の手引き

講師：森元

参加者：16名



第3回野生動物管理学研究センター学生勉強会

第5回 野生動物管理学研究センター学生勉強会

日時：平成22年12月15日(水)12:10～12:50

演題：ムササビと暮らす

講師：岐阜県リハビリテーター 宮部氏

参加者：20名

センターの活動内容



シンポジウム

文部科学省特別教育研究経費
(連携融合事業) 国際シンポジウム

「野生動物管理の担い手 :

狩猟者と専門的捕獲技術者の育成」

日時 : 2010年7月17日 (土) 9 : 30~17 : 50

会場 : 東京農工大学農学部本館講堂

第1部

「専門的捕獲技術者の必要性」

・ 個体数管理体制の発想転換

鈴木正嗣 (岐阜大学応用生物科学部教授)

・ 専門的捕獲と野生動物管理のための狩猟

Dr. A. J. DeNicola (ホワイトバッファロー代表)

・ ここまでできる個体数管理 :

カワウにおけるSharp-shooting

須藤明子 (㈱ イーグレット・オフィス代表)

第2部

「将来に向けた人材育成の方向性」

・ 日本における狩猟技術者の育成の現状と課題

八代田千鶴 (森林総合研究所)

・ ドイツの狩猟~狩猟者の教育、訓練と役割~

Prof. Dr. Markus Schaller (ミュンヘン工科大学教授)

・ 新人ハンターと専門的捕獲技術者の育成

伊吾田宏正 (酪農学園大学講師)

・ 島根県美郷町の取り組み : 駆除組合の設立

安田亮 (島根県美郷町役場産業振興課)

・ 狩り部の目指すもの

瀬戸隆之 (農工大学大学院)

主催 : 東京農工大学

共催 : 岐阜大学応用生物科学部附属野生動物
管理学研究センター、森林総合研究所

後援 : 環境省、林野庁、横浜国立大学COE、

野生生物保護学会、日本哺乳類学会、

日本生態学会

農作物獣害対策シンポジウム

~被害の防止と生物多様性の保全にむけて~

日時 : 2010年7月30日 (金) 13 : 30~16 : 30

会場 : 豊川市小坂井文化会館 (フロイデンホール)

第1部

「獣類による被害防止に向けて

~地域力を生かした新たな取組~」

・ 愛知県におけるシカ・イノシシの対策事例

小出哲哉 (愛知県新城設楽農林水産事務所)

・ 獣害の人的要因と集落での対策

山端直人 (三重県農業研究所)

・ 農地・水・環境保全向上対策を利用した取組

小野博史 (豊川市鳥獣被害防止対策協議会音羽地域代表)

パネルディスカッション :

「地域ぐるみで取り組む被害防止対策」

コーディネーター :

鈴木正嗣 (岐阜大学応用生物科学部教授)

パネラー : 小出哲哉、山端直人、

小野博史、横山真弓

第2部「被害防止対策と生物多様性について」

・ 愛知県における個体数調整の取組

石田晴子 (愛知県環境部自然環境課長)

・ 兵庫県における野生動物対策と

生物多様性の保全に向けた取組について

横山真弓 (兵庫県立大学准教授、

森林動物研究センター主任研究員)

主催 : 岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究
センター、農林水産省東海農政局、愛知県、

豊川市鳥獣被害防止対策協議会

連携協力 :

生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会

平成22年度大学改革推進等補助金 (大学改革推進事業) にもとづく自治体関係者向け講演会

「野生動物管理に関わる行政的・学術的先行事例」

日時 : 12月22日 13 : 30~17 : 40

場所 : 岐阜大学応用生物科学部22教室

第1部

・ 兵庫県における野生動物管理システムの概要

~県と兵庫県立大学の連携とその利点~

浅田卓 (兵庫県森林動物研究センター次長)

・ 栃木県における野生動物管理システムの概要

~栃木県における傷病鳥獣対応と野生動物管理~

丸山哲也 (栃木県自然保護課)

第2部

・ エゾヒグマの遺伝学的特性と生物地理

松橋珠子 (岐阜県畜産研究所)

・ 兵庫県におけるツキノワグマ対応の制と野生動物研究者/獣医師の役割

横山真弓 (兵庫県立大学准教授、森林動物研究センター主任研究員)



野生動物管理に関わる行政的・学術的先行事例

センターの活動内容



セミナー

第10回野生動物管理学研究センターセミナー

日時：平成22年7月3日（土）

会場：岐阜大学応用生物科学部棟21教室

演題：和歌山県田辺市におけるアライグマ対策の現状と課題

講師：鈴木 和男氏（田辺市ふるさと自然公園センター）

参加者：23名



第10回野生動物管理学研究センターセミナー

第11回野生動物管理学研究センターセミナー

日時：平成23年2月5日（土）

会場：岐阜大学応用生物科学部棟104教室

演題：学芸員のお仕事

講師：説田 健一氏（岐阜県博物館学芸員）

参加者：17名



第11回野生動物管理学研究センターセミナー



普及活動

岐阜県地域振興局野生傷病鳥獣救護講習会

日時：5月17日（月）13:30～16:00

会場：野生動物管理学研究センター

連合獣医学研究科棟6階

〈実技〉捕獲・運搬・ハンドリング

鳥インフルエンザの簡易検査

〈座学〉野生動物救護について

野鳥ヒナの救護

講師：浅野、岡野

受講者：21名

平成22年度第1回愛知県農作物鳥獣害対策研修会

日時：6月7日（月）1:30～16:30

会場：愛知県立農業大学校（大講堂）

演題：「アライグマの生態及び防除方法について」

講師：浅野

参加者：約135名



振興局傷病野生動物救護講習会

岐阜県獣医師会岐阜支部研修会

日時：5月18日（火）14:30～15:45

会場：岐阜県農業共済会館 大研修室

主催：岐阜県獣医師会岐阜支部

演題：「野生動物四方山話」

内容：海外における野生動物調査、
米国の野生動物管理教育およびその現場、
乗鞍岳で発生したツキノワグマによる
人身事故の調査結果などについて紹介

講師：浅野

参加者：約30名

第19回学生リハビリテーター養成講習会

日時：6月13日（日）10:30～14:30

会場：連合獣医学研究科棟

内容：野生動物救護の意義

野生動物リハビリテーターとは

人と動物の共通感染症

野生動物の現状と生息環境の変化の関係

講師：鈴木、浅野、岡野

受講者：33名



第19回学生リハビリテーター養成講習会

センターの活動内容



普及活動

野生動物保護管理活動講演

日時：9月14日(火)10:30~12:30
会場：岐阜県立飛騨高山高等学校
内容：傷病鳥獣救護について考える
野生鳥獣の違法飼育について
講師：岡野
受講者：22名

第20回全国動物管理関係事業所協議会全国会議

日時：10月15日(金)
会場：ホテル グランヴェール岐山
演題：「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物
管理学研究センターにおける活動」
講師：岡野
参加者：約100名

東濃獣医師会講習会

日時：2011年1月16日(日)
会場：竜庵
演題：「センターでの傷病鳥獣の救護状況」
「ツキノワグマの麻酔管理」
講師：岡野
参加者：約30名



野生動物保護管理活動講演



第20回学生リハビリテーター養成講習会

COP10動物講演会

日時：10月10日(日)1:30~16:30
会場：東山動植物園
動物会館レクチャーホール
演題：「アライグマのことをもっと知ろう
～その生態と外来生物としての現状～」
講師：浅野
参加者：約30名

第20回学生リハビリテーター養成講習会

日時：11月29日(日)10:30~14:30
会場：連合獣医学研究科棟
内容：野生動物救護の意義
野生動物リハビリテーターとは
人と動物の共通感染症
野生動物の現状と生息環境の変化の関係
学生リハビリテーターの活動紹介
講師：鈴木、浅野、岡野
受講者：10名

高山市鳥獣被害防止研修会

日時：2011年3月4日(金)19:00~21:00
会場：飛騨農業協同組合
飛騨地域農業管理センター
演題：「第一回目 クマとともに生きる」
講師：浅野
参加者：約50名



COP10動物講演会



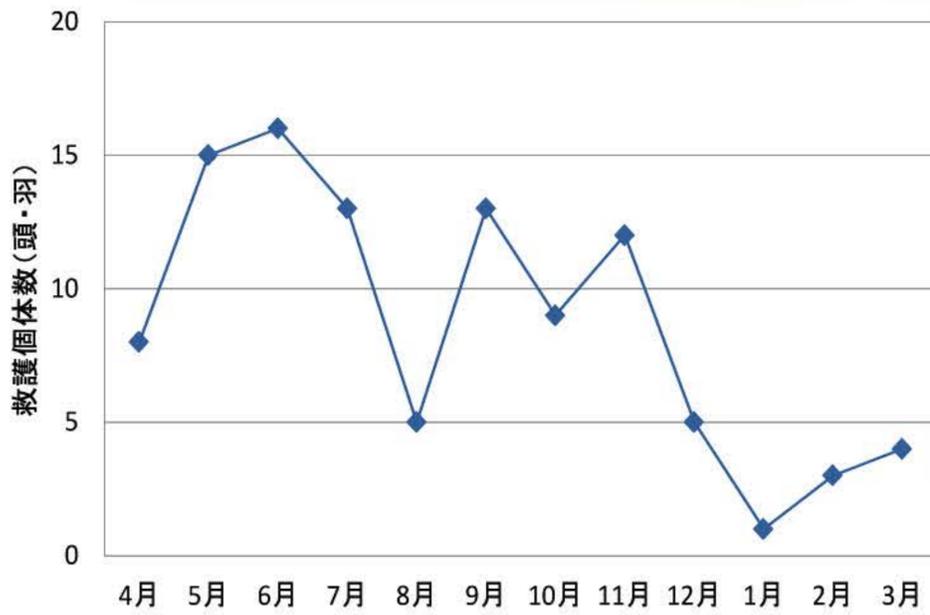
高山市鳥獣被害防止研修会

センターの活動内容

・野生動物救護室

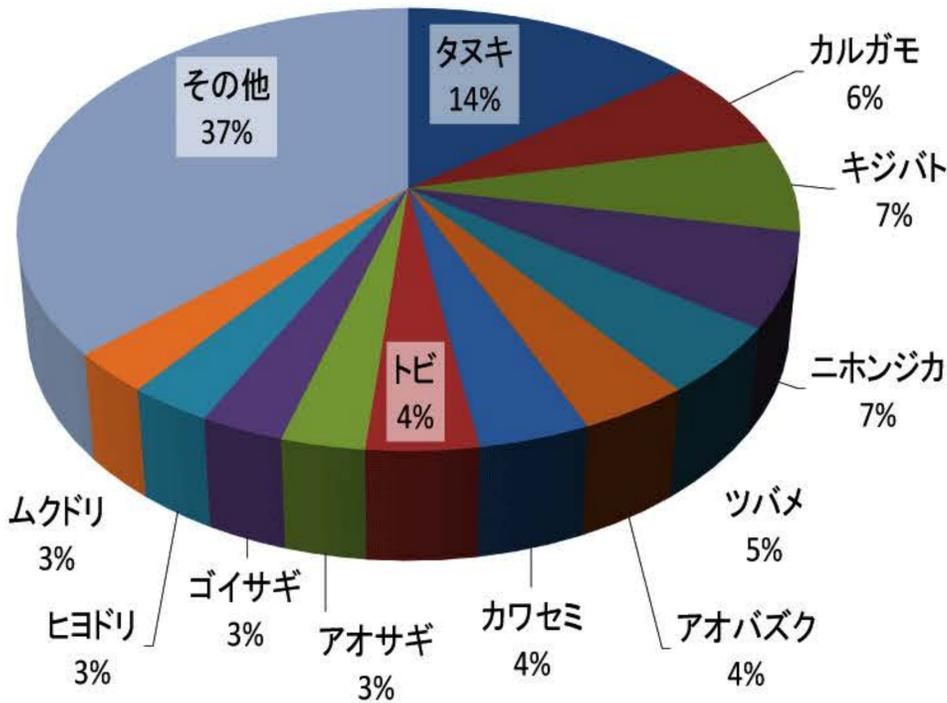


救護状況



◀ 救護個体点数

本センターに運ばれた傷病鳥獣は、鳥類が36種72羽、哺乳類が10種32頭でした。本年度は、全国での鳥インフルエンザの発生に伴い、1月下旬から傷病野鳥の受け入れを休止しました。



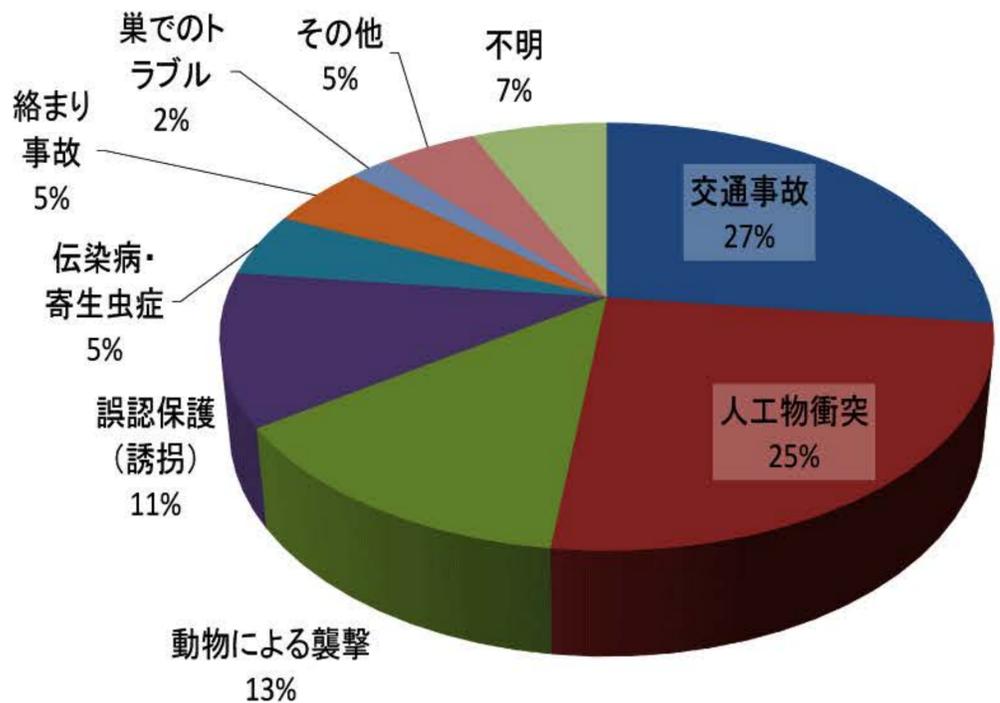
◀ 救護動物種

本年度はタヌキが最も救護され、カルガモ、キジバト、ニホンジカと続きました。タヌキは交通事故と疥癬症での救護が目立ちました。また本年度は、今まで救護されなかったアカハラやヒナコウモリが救護されました。

※数値の四捨五入の関係で、内訳の値が一致しない場合があります。

▶ 救護原因

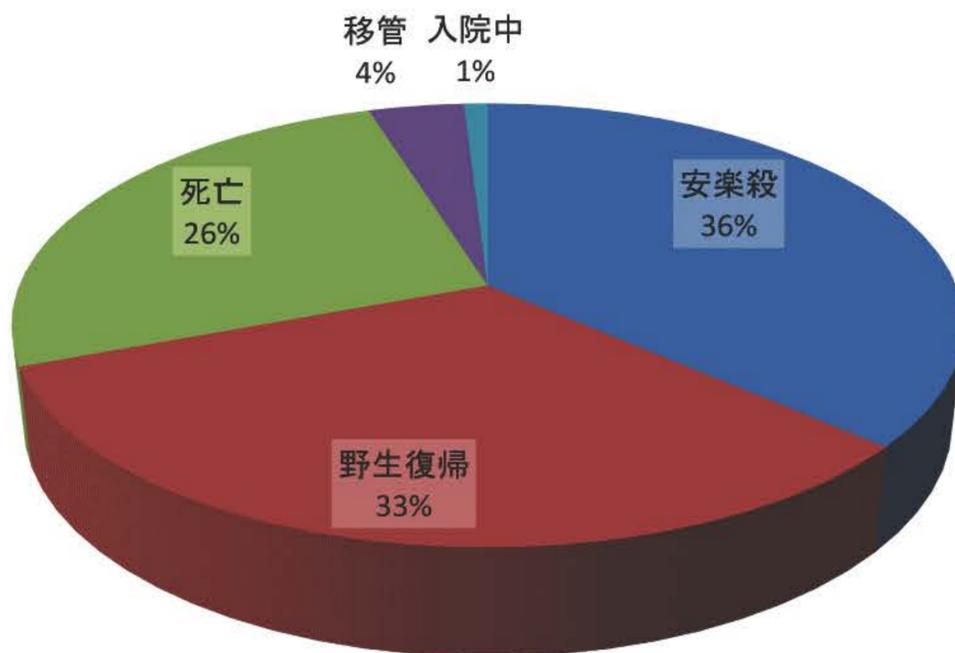
救護原因の上位は例年の傾向通り、人工物衝突と交通事故で、受け入れの半分以上を占めました(52%)。例年救護件数の多い野鳥のヒナについては、生態学的見知に基づき、今年度より原則として受け入れを中止しました。ヒナに関する通報があった場合、岐阜県の各振興局の方々に、状況に応じた指導を、通報者に行っていただいています。



センターの活動内容

・ 野生動物救護室

■ 救護状況



◀ 転帰

救護された動物の33%が野生復帰を果たし、26%が治療・リハビリのいかなく死亡しました。なお、36%は獣医学的・生態学的判断から、安楽殺が選択されました。

■ リハビリテーターボランティア活動状況 (のべ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	33	10	22	12	9	4	25	21	7	5	2	0	150
市民	3	6	2	3	7	4	2	6	5	8	2	4	52



WRC10-026ノウサギ (授乳中の様子)



WRC10-029カワセミ (自力採食訓練)



WRC10-012キツネ
(岐阜県リハビリテーターボランティア作業風景)



WRC10-054コシアカツバメ
(リリース前の最終確認中の様子)

センターの活動内容

・ 野生動物救護室



収容結果

個体番号	種名	搬入日	救護地点	転帰
WRC10-001	カワセミ	2010/04/05	岐阜市	死亡
WRC10-002	カルガモ	2010/04/07	本巣市	野生復帰
WRC10-003	ツバメ	2010/04/07	岐阜市	移管
WRC10-004	キジバト	2010/04/08	各務原市	野生復帰
WRC10-005	ニホンジカ	2010/04/09	本巣市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-006	モズ	2010/04/15	本巣市	死亡
WRC10-007	オオルリ	2010/04/19	関市	死亡
WRC10-008	キビタキ	2010/04/30	岐阜市	野生復帰
WRC10-009	アライグマ	2010/05/10	岐阜市	生態学的判断により安楽殺
WRC10-010	タヌキ	2010/05/11	関市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-011	スズメ	2010/05/12	瑞穂市	野生復帰
WRC10-012	キツネ	2010/05/12	可児市	野生復帰
WRC10-013	ニホンザル	2010/05/12	羽島市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-014	キジバト	2010/05/13	岐阜市	死亡
WRC10-015	ニホンジカ	2010/05/19	揖斐郡大野町	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-016	ムクドリ	2010/05/21	羽島郡笠松町	死亡
WRC10-017	ハイタカ	2010/05/21	下呂市	死亡
WRC10-018	ムクドリ	2010/05/25	羽島市	死亡
WRC10-019	カルガモ	2010/05/25	岐阜市	野生復帰
WRC10-020	ツバメ	2010/05/27	羽島市	死亡
WRC10-021	ヨタカ	2010/05/28	可児市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-022	タヌキ	2010/05/28	恵那市	野生復帰
WRC10-023	タヌキ	2010/05/31	羽島市	野生復帰
WRC10-024	トビ	2010/06/01	岐阜市	野生復帰
WRC10-025	ノウサギ	2010/06/01	各務原市	野生復帰
WRC10-026	ノウサギ	2010/06/01	各務原市	死亡
WRC10-027	カルガモ	2010/06/01	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-028	カワセミ	2010/06/03	関市	死亡
WRC10-029	カワセミ	2010/06/03	関市	野生復帰
WRC10-030	キジバト	2010/06/03	岐阜市	野生復帰
WRC10-031	アオバズク	2010/06/04	岐阜市	死亡
WRC10-032	ムクドリ	2010/06/04	不破郡垂井町	死亡
WRC10-033	アオバズク	2010/06/07	下呂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-034	ミサゴ	2010/06/07	養老郡養老町	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-035	セグロセキレイ	2010/06/07	岐阜市	野生復帰
WRC10-036	カワラヒワ	2010/06/10	岐阜市	死亡
WRC10-037	ツバメ	2010/06/28	本巣市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-038	スズメ	2010/06/28	岐阜市	移管
WRC10-039	ニホンジカ	2010/06/29	本巣市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-040	ツバメ	2010/07/01	岐阜市	野生復帰
WRC10-041	カルガモ	2010/07/05	岐阜市	野生復帰
WRC10-042	キジバト	2010/07/07	岐阜市	野生復帰
WRC10-043	キジ	2010/07/07	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-044	トビ	2010/07/16	関市	野生復帰
WRC10-045	カルガモ	2010/07/21	岐阜市	野生復帰
WRC10-046	ツバメ	2010/07/22	岐阜市	死亡
WRC10-047	メジロ	2010/07/23	岐阜市	野生復帰
WRC10-048	キジバト	2010/07/26	岐阜市	野生復帰
WRC10-049	カルガモ	2010/07/28	岐阜市	野生復帰
WRC10-050	ヒナコウモリ	2010/07/28	岐阜市	移管
WRC10-051	アオサギ	2010/07/29	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-052	ケリ	2010/07/30	羽島市	獣医学的判断により安楽殺

センターの活動内容

・野生動物救護室



収容結果

個体番号	種名	搬入日	救護地点	転帰
WRC10-053	アオバズク	2010/08/02	瑞浪市	野生復帰
WRC10-054	コシアカツバメ	2010/08/03	土岐市	野生復帰
WRC10-055	タヌキ	2010/08/04	岐阜市	死亡
WRC10-056	オオタカ	2010/08/26	揖斐郡揖斐川町	死亡
WRC10-057	オオタカ	2010/08/30	可児市	死亡
WRC10-058	チュウサギ	2010/09/02	各務原市	野生復帰
WRC10-059	コサギ	2010/09/07	岐阜市	死亡
WRC10-060	ゴイサギ	2010/09/10	岐阜市	野生復帰
WRC10-061	アオサギ	2010/09/10	安八郡安八町	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-062	アオバズク	2010/09/10	瑞浪市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-063	カワセミ	2010/09/21	岐阜市	死亡
WRC10-064	アカエリヒレアシシギ	2010/09/22	高山市	死亡
WRC10-065	ヒヨドリ	2010/09/22	羽島市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-066	シベリアイタチ	2010/09/24	岐阜市	生態学的判断により安楽殺
WRC10-067	アオサギ	2010/09/24	山県市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-068	カモシカ	2010/09/27	揖斐郡揖斐川町	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-069	ヒヨドリ	2010/09/30	岐阜市	死亡
WRC10-070	カイウサギ	2010/09/30	関市	移管
WRC10-071	ツツドリ	2010/10/06	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-072	ニホンジカ	2010/10/08	本巣市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-073	ニホンジカ	2010/10/13	揖斐郡揖斐川町	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-074	カルガモ	2010/10/15	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-075	ニホンジカ	2010/10/15	揖斐郡大野町	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-076	キジバト	2010/10/21	岐阜市	死亡
WRC10-077	カワウ	2010/10/19	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-078	オオコノハズク	2010/10/26	加茂郡白川町	野生復帰
WRC10-079	ヤマシギ	2010/10/27	郡上市	野生復帰
WRC10-080	タヌキ	2010/11/02	可児市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-081	ゴイサギ	2010/11/04	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-082	トラフズク	2010/11/04	瑞穂市	野生復帰
WRC10-083	オオミズナギドリ	2010/11/12	各務原市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-084	ヒヨドリ	2010/11/17	郡上市	野生復帰
WRC10-085	アオバト	2010/11/18	岐阜市	野生復帰
WRC10-086	アカハラ	2010/11/19	岐阜市	野生復帰
WRC10-087	タヌキ	2010/11/22	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-088	タヌキ	2010/11/24	揖斐郡大野町	死亡
WRC10-089	ゴイサギ	2010/11/24	岐阜市	野生復帰
WRC10-090	ハイタカ	2010/11/24	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-091	タヌキ	2010/11/30	岐阜市	死亡
WRC10-092	タヌキ	2010/12/01	岐阜市	入院中
WRC10-093	トビ	2010/12/03	岐阜市	野生復帰
WRC10-094	タヌキ	2010/12/14	岐阜市	死亡
WRC10-095	トビ	2010/12/20	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-096	タヌキ	2010/12/27	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-097	オオコノハズク	2011/01/11	加茂八百津町	死亡
WRC10-098	キジバト	2011/02/01	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-099	タヌキ	2011/02/04	岐阜市	野生復帰
WRC10-100	ニホンジカ	2011/02/18	本巣市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-101	タヌキ	2011/03/01	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-102	タヌキ	2011/03/04	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC10-103	タヌキ	2011/03/11	可児市	死亡
WRC10-104	シベリアイタチ	2011/03/29	岐阜市	生態学的判断により安楽殺

センターの活動内容

・鳥獣害対策指導員育成事業（委託事業）



委託事業の目的

近年、中山間地を中心に、イノシシやサルなどの鳥獣による農作物被害が深刻化しており、被害対策として侵入防止柵の整備や有害鳥獣の捕獲などが行われている。

しかし、被害の根本的な原因である集落環境整備については、地域住民によって管理される部分が多く、その必要性が住民に十分に理解されていない状況であることから、研修会等による啓発が求められている。

そこで、鳥獣害発生地域の対策実施状況などを把握したうえで、地域の実情に応じた対策の指導・助言を行える人材を育成する。



活動一覧

2010. 06. 22 ～23	カワウの個体数調整事業に同行、鳥獣の管理における体制の作り方について研修
2010. 07. 03	第10回野生動物管理学研究センターセミナーに参加 「和歌山県田辺市におけるアライグマ対策の現状と課題」
2010. 07. 07	カワウの個体数調整事業に同行、鳥獣の管理における体制の作り方について研修
2010. 07. 16 ～18	文部科学省特別教育研究経費（連携融合事業）国際シンポジウム 「野生動物管理の担い手：狩猟者と専門的技術者の育成」に参加、鳥獣の管理手法について研修
2010. 07. 30	農作物獣害対策シンポジウム～被害の防止と生物多様性の保全にむけて～に参加、鳥獣の管理手法について研修
2010. 08. 05	猟銃に関する制度の把握と教習資格取得のため、猟銃所持のための初心者講習会受講
2010. 08. 11	第1種猟銃・わな猟免許試験受験、同免許取得
2010. 08. 23 ～27	鳥獣の管理手法取得のため、島根県美郷町における鳥獣害対策・有効利用に関する実施研修
2010. 09. 17 ～20	第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会にて、大会の運営、研究情報の収集
2010. 10. 13 ～15	鳥獣保護管理における現場指導者研修会にて、鳥獣の管理手法などについて研修
2010. 10. 27	関ヶ原市で捕獲されたツキノワグマの麻酔実施に同行、鳥獣の管理手法などについて研修
2010. 11. 02	岐阜県農作物鳥獣害対策相談員養成講座にて講演
2010. 11. 11 ～13	下呂市への鳥獣害調査（ライトセンサス）に同行
2010. 11. 17	野生動物管理学研究センター学生勉強会にて講演 「動物の捕獲をめぐる制度と資格について」
2010. 11. 26	岐阜県農作物鳥獣害対策相談員養成講座にて講演
2010. 12. 02	下呂市の鳥獣害対策研修会にて講演
2011. 02. 07	揖斐地域鳥獣被害対策研修会にて講演
2011. 02. 08	射撃教習受講、猟銃の所持許可申請資格の取得
2011. 02. 09	恵那市の鳥獣被害対策研修会にて講演
2011. 02. 22	岐阜市の鳥獣被害防止講習会にて講演
2011. 03. 02	不破郡垂井町の農業政策説明会にて講演

センターの活動内容

・鳥獣害対策指導員育成事業（委託事業）



講習会・講座

岐阜県農作物鳥獣害対策相談員養成講座

日時：平成22年11月2日 10:00～16:30

会場：国際園芸アカデミー

内容：鳥獣害対策の目指すべき体制について

講師：森元

対象：行政職員

参加者：約40人

岐阜県農作物鳥獣害対策相談員養成講座

日時：平成22年11月26日 10:00～16:30

会場：岐阜県農業技術センター

内容：鳥獣害対策の目指すべき体制について

講師：森元

対象：行政職員

参加者：約40人

鳥獣害対策研修会

日時：平成22年12月2日

会場：下呂市金山振興事務所 下原公民館

内容：鳥獣害対策の考え方の普及

講師：森元

対象：農家

参加者：約80人

揖斐地域鳥獣被害対策研修会

日時：平成22年2月7日 13:00～16:00

会場：揖斐総合庁舎

内容：鳥獣害対策の考え方の普及

講師：森元

対象：農家

参加者：約130人

鳥獣被害対策研修会

日時：平成22年2月9日 13:30～16:30

会場：恵那文化センター

内容：鳥獣害対策の考え方の普及

講師：森元

対象：農家

参加者：約200人

鳥獣被害防止講習会

日時：平成22年2月22日 19:00～

会場：JA岐阜 方県支店

内容：鳥獣害対策の考え方の普及

講師：森元

対象：農家

参加者：約40人

農業政策説明会

日時：平成22年3月2日 13:00～16:30

会場：垂井町文化会館小ホール

内容：鳥獣害対策の考え方の普及

講師：森元

対象：農家

参加者：約60人



揖斐地域鳥獣被害対策研修会



論文

1. Nakagawa E, Kobayashi M, Suzuki M, Tsubota T. 2010. Genetic Variation in the Harbor Seal (*Phoca vitulina*) and Spotted Seal (*Phoca largha*) Around Hokkaido, Japan, Based on Mitochondrial Cytochrome b Sequences. *Zoological Science* 27(3):263-268
2. 富田直樹, 水谷友一, 藤井英紀, 杉浦里奈, 柳井徳磨, 浅野玄, 新妻靖章. 2010. 青森県蕪島におけるウミネコ成鳥の殺傷死体の発見. *日本鳥学会誌* 59: 80-83.
3. 中村幸子, 岡野司, 柴田治樹, 山中淳史, 小松武志, 浅野玄, 坪田敏男, 鈴木正嗣. 2010. ニホンツキノワグマにおける繁殖と母体栄養状態の関連性. *獣医畜産新報* 63: 361-365.
4. 岡野司. 2010. ツキノワグマ精液の採取および凍結保存. *獣医畜産新報* 63: 375-378.
5. 鈴木正嗣. 2010. 成熟期に入った野生動物獣医学に求められること—生態学的・保全生物学的な知識と洞察の必要性—. *日獣会誌* 63: 390-394.
6. 中下留美子, 鈴木彌生子, 林秀剛, 泉山茂之, 中川恒祐, 八代田千鶴, 浅野玄, 鈴木正嗣. 2010. 乗鞍岳畳平で人身事故を引き起こしたツキノワグマの食性履歴の推定—安定同位体分析による食性解析—. *哺乳類科学* 50: 43-48.
7. Kubo, M., Kawachi, T., Murakami, M., Kubo, M., Tokuhiko, S., Agatsuma, T., Ito, K., Okano, T., Asano, M., Fukushima, H., Nagataki, M., Sakai, H., Yanai, T. 2010. Meningoencephalitis Associated with *Sarcocystis* spp. in a Free-Living Japanese Raccoon Dog (*Nyctereutes procyonoides viverrinus*). *J. Comp. Pathol.* 143: 185-189.
8. 岡野司, 松浦里子, 久保正仁, 柳井徳磨, 浅野玄, 鈴木正嗣. 2010. 交通事故により救護されたクマタカ (*Spizaetus nipalensis*) で偶発的にみられた腎腺癌の1例. *日本野生動物医学会誌*. 15: 105-109.
9. Adachi, I., Kusuda, S., Nagao, E., Taira, Y., Asano, M., Tsubota, T. and Doi, O. 2010. Fecal steroid metabolites and reproductive monitoring in a female Tsushima leopard cat (*Prionailurus bengalensis euphilurus*) *Theriogenology* 74: 1499-1503.
10. Abe, M., Yamasaki, A., Ito, N., Mizoguchi, T., Asano, M., Okano, T., Sugiyama, M. 2010. Molecular characterization of rotaviruses in a Japanese raccoon dog (*Nyctereutes procyonoides*) and a masked palm civet (*Paguma larvata*) in Japan. *Vet. Microbiol.* 146: 253-259.



著書

1. 浅野玄. 2010. エキノコックス症・その他の寄生虫性人獣共通感染症の診断. 「獣医公衆衛生学実習」 pp. 146-148, 学窓社, 東京.
2. 伊吾田宏正, 上田剛平, 鈴木正嗣, 山本俊昭, 吉田剛司 (監訳). 2011. 「野生動物と社会—人間事象からの科学—」 p.366, 文永堂, 東京.

業績及び出版物



学会発表（一般口頭・ポスター）

1. 伊藤圭子, 山崎翔気, 岡野司, 原口句美, 浅野玄, 鈴木正嗣. 傷病鳥獣救護活動における飼育由来猛禽類の“誤認”救護の可能性. 第16回日本野生動物医学会大会 (2010年9月, 福岡)
2. 小林恒平, 藤本智, 杉本加奈子, 浅野玄, 羽田真悟, 松井基純. エゾシカ避妊ワクチン開発に向けた透明帯糖蛋白質抗原の検討. 第16回日本野生動物医学会大会 (2010年9月, 福岡)
3. 加藤友紀子, 鈴木和男, 早川大輔, 浅野玄, 鈴木正嗣. 和歌山県および北海道における雄アライグマ (*Procyon lotor*) の繁殖特性の解明. 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (2010年9月, 岐阜)
4. 山崎翔気, 長井和哉, 浅野玄, 鈴木正嗣. エゾシカの糞便を用いた遺伝学的解析の有用性検討. 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (2010年9月, 岐阜)
5. 中川恒祐, 八代田千鶴, 河合洋人, 粟屋善雄, 浅野玄, 鈴木正嗣. 乗鞍岳高山帯におけるツキノワグマの餌資源量の推定-人身事故の原因解明調査の一環として-. 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (2010年9月, 岐阜)
6. 辻知香, 横山真弓, 齋田栄里奈, 浅野玄, 鈴木正嗣. 胎児確認と卵巣の組織観察による兵庫県のニホンイノシイ妊娠率算出方法の検討. 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (2010年9月, 岐阜)
7. 安部昌子, 山崎有里, 伊藤直人, 溝口俊夫, 加藤千春, 浅野玄, 岡野司, 杉山誠. A群ロタウイルスの感染環における野生動物の関与. 第10回人と動物の共通感染症研究会 (2010年10月, 千代田)



学会シンポジウム・自由集会等

1. 岡野司. 保全医学からのアプローチ. 第16回日本野生動物医学会大会. 自由集会「絶滅に瀕するツキノワグマ個体群の保全」 (2010年9月, 福岡)
2. 鈴木正嗣. 野生生物の社会経済的利活用と生物多様性保存. 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (2010年9月, 岐阜)
3. 鈴木正嗣. 日本版シャープシューティングの可能性と課題. 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会 (2010年9月, 岐阜)
4. 楠田哲士, 吉川晶子, 原口句美, 矢部隆. 岐阜大学地区のカメ類の生息状況とニホンイシガメ復活にむけて. 爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会第9回ワークショップ (2010年11月13日, 麻布大学)
5. 吉川晶子, 楠田哲士, 原口句美, 矢部隆. 岐阜大学地区におけるアカミミガメの繁殖の証拠と駆除捕獲状況～ニホンイシガメ復活にむけて～. 第12回日本カメ会議 (2010年12月11～12日, 名古屋コミュニケーションアート専門学校)

業績及び出版物



他機関等への標本提供

(「研究題目」,研究代表者(所属),提供物品及び情報等)

1. 「様々な野生動物の舌の走査型電子顕微鏡による観察」,江村正一(岐阜大学医学部),野生動物の舌
2. 「野鳥における鳥マラリア原虫感染に関する研究」,村田浩一(日本大学生物資源科学部),鳥類の血液
3. 「哺乳類のブドウ球菌属の共進化」,佐々木崇(順天堂大学大学院感染制御学),鼻腔・会陰部のスワブ検体
4. 「食肉目における甘味受容体遺伝子の多型の探索」,松村秀一(岐阜大学応用生物科学部),食肉目の血液または組織
5. 「ウサギ目における行動関連遺伝子の探索」,伊藤慎一(岐阜大学応用生物科学部),ウサギ目の血液または組織



新聞掲載・テレビ放送等

新聞

著作権保護のため非表示

組織と運営

■ 運営協議会と会議メンバー

野生動物管理学研究センター運営協議会

運営協議員／併任教員

鈴木正嗣（センター長）

河合啓一 北川 均

鬼頭克也 杉山 誠

土井 守 柳井徳磨

福士秀人 浅野 玄

石田 仁 安藤正規

楠田哲士

正者正成（応用生物科学部事務長）

野生動物管理学研究センター会議メンバー

鈴木正嗣（センター長）

浅野 玄（教員）

岡野 司（岐阜県非常勤獣医師）

原口句美（リハビリテーター）

伊藤圭子（リハビリテーター）～12月

森本直樹（リハビリテーター）1月～

森元萌弥（技術補佐員）

■ 運営経費（単位：千円）

・野生動物管理学研究センター運営費

岐阜大学 政策経費 4,200

岐阜県 運営負担金 3,630

合計 7,830

（※県非常勤獣医師人件費は除く）

・委託事業（鳥獣害対策指導員）

岐阜県 県委託費 3,483

合計 3,483

■ 寄付一覧 （多くの寄付をいただいております。厚くお礼申し上げます。） 順不同・敬称略

〈企業〉（株）後藤孵卵場
JA岐阜農産物流通センター

〈個人〉 佐久間 香織
中村 あゆみ
森 脩祐
山本 祥菜

〈学内研究室〉
動物内分泌学研究室



WRC10-099タヌキ(リリースの様子)



WRC10-058チュウサギ(リリースの様子)

■ あとがき

岐阜県環境生活部長 坂 正光

岐阜県が行う傷病野生鳥獣の救護事業につきましては、当センタースタッフの方々の活動をはじめ、（社）岐阜県獣医師会の皆様のご協力並びに野生動物リハビリターの皆様の献身的な保護飼養活動に支えられ、平成22年度は県全体で275頭羽の保護治療及びリハビリを行うことができました。

一方で、近年、人の生活環境における野生動物を巡る問題は複雑化・多様化しています。平成22年度はツキノワグマの大量出没の年でもありました。この背景には、餌となるドングリの凶作、過疎化や高齢化が進んだ里山の荒廃などがあります。また、近年の野生動物による被害はクマだけではなく、シカやイノシシなどによる農林業被害の急増があり、地域に根ざした抜本的対策が急務となっています。

そのような中、センターと県との連携は救護にとどまらず、野生動物における多くの課題への取り組みに及んでいます。平成22年度にはセンター運営協議会の有識者の方々に検討委員として参画いただき、県の「特定鳥獣保護管理計画（ニホンジカ）」を新たに策定しました。特定鳥獣保護管理計画とは、人と野生鳥獣との共生や生物多様性の保全を目的として野生鳥獣を科学的・計画的に保護管理するための計画です。

さらに、昨今の野生動物を取り巻く問題として、野生動物の人獣共通感染症が注目されています。特に、この冬に全国各地で発生が相次いだ野鳥の高病原性鳥インフルエンザの対応については、人の健康と傷病鳥獣救護のあり方に大変深くかかわる問題であるため、今後、関係者間で慎重に検討しながら進めて参りたいと考えています。

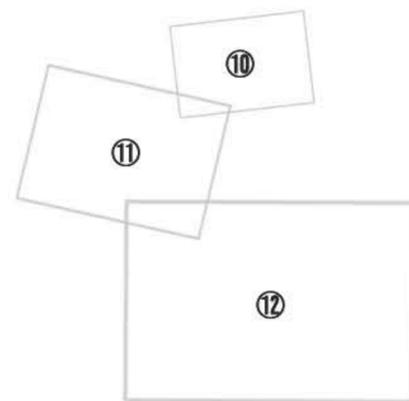
最後になりましたが、傷病野生鳥獣の救護をはじめ野生動物にかかる県の課題は多く、その内容も多義にわたります。県民の安全・安心な暮らしを確保しつつ、自然豊かな岐阜の地に生息する野生動物との共存を目指し、大学、獣医師、行政関係者のみならず県民の皆様にも「野生鳥獣と人の適切な関わり方」について、共に考え、一つでも多くの問題解決につなげて参りたいと考えますので、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表紙写真

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

福井強志氏撮影
(日本野鳥の会・岐阜)

裏表紙写真



- ①ハチクマ ②ツグミ ③アオゲラ
④ヤマガラ ⑤ハヤブサ ⑥オオヨシキリ
⑦ヒレンジャク ⑧ケリ ⑨ゴイサギ
⑩ニホンノウサギ ⑪テン ⑫カモシカ



岐阜大学応用生物科学部
附属野生動物管理学研究センター(野生動物救護室)
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
Tel/Fax 058-293-2959
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~kyugoyas/index.html>